



国際ロータリー第 2530 地区 県北第一分區
福島南ロータリークラブ会報

事務局連絡先 024-546-3793

第 13 回例会

2020.10.14

会員 73 名中 45 名 出席 61.64%
修正 55 名 75.34%
メイクアップ 10 名

国際ロータリー会長 ホルガー・クナーク Holger Knaack
国際ロータリー第2530地区ガバナー 石黒 秀司
福島南ロータリークラブ 会長 松崎 弘昭
標語「後から来る者の種火となって共に熱く燃えよう」

例会会場連絡先/クーラクーリアンテナパレス TEL 024-523-3811 毎週水曜日 12:30~

◆会長挨拶 松崎 弘昭 会長



燦爛と陽光が降りそそぐ藍色の天空にくっきりと聳えている吾妻の一切経山。ゆっくり流れる白い雲を眺めていると日頃の瑣事も忘れてしまいます。そんな平和な日常がある中で、先日、浪江町津島の帰還困難地域を通ってきました。沢山の子猿も瓜坊も楽しそうにこちらを見て「何しに来たの？僕たちの村に？」という顔をして迎えてくれました。皮肉というか、悲しいというか、過去を迎えれば、この帰還困難地域も元々は動物たちのものだったのでしょうか。何となく複雑な気持ちになりました。さて、今月は米山月間になっておりますが、このロータリー米山記念奨学事業は、日本で学ぶ外国人留学生を支援するプログラムで、1952年に米山基金として構想がスタートし、1967年に財団法人として設立され、現在は公益財団法人になっているものです。米山梅吉氏が亡くなったのは1946年ですから、この奨学会は東京RCが米山梅吉翁の思いを引き継ぎ形で設立されたものです。そのため、名称に「記念」という言葉が入っています。そして、この公益財団法人ロータリー米山記念奨学会は、全国のロータリアンの寄付を財源として運営されているのですが、財団法人設立する際に組織の財政基盤がしっかりしていないと許可が下りないということになり、いつもの例会でお願いしている任意の特別寄付金とは別に会費の中から一定額(当クラブでは一人年額5千円)を普通寄付金として送付することでこの財団の財政基盤を支えています。

因みに、米山記念奨学事業の事業費は直近のもので、年間約14億4千万円、学生採用数860名、これまでの累計は2万人を超えています。

今日は、食事の後に、二人の米山奨学生にスピーチをして頂きます。自分が生まれ育った国を離れ、母国の為、そして、日本との懸け橋になるべく、この日本で勉強している優秀な二人の話を楽しみにしています。進行は米山記念奨学会委員会になりますので宜しくお願いいたします。

会員の広場： ※この広場は会員からの楽しい情報、役に立つ情報など掲載してまいります。是非、会報委員へお声がけ下さい。

松崎会長の川柳

世の中は もっと上にも 人がいる！ 世の中は もっと下にも 人がいる！ 世の中は それでバラシ とれている！
自分より 他人を変える 難しさ！ 変えずとも 変わっていると 言われてる！ 二つある 俺の性格 裏表！

次回10月28日(水)第14回例会は中止

【 例会予定 】

- 11月4日(水) クラブフォーラム・誕生祝い
- 11月11日(水) ゲストスピーチ (福島市消防署様)
- 11月18日(水) 県北第一分區 IM 報告・会員スピーチ

【 地区・分區・その他関連行事 】

- 11月9日(月) 防火パレード
- 11月14日(土) 県北第一分區 IM (ウェディングエルティ)
- 11月21日(土) R財団地区補助金管理セミナー (ユラックス熱海)



◆感謝状 大橋 廣治 パストガバナー



公益財団法人ロータリー米山記念奨学会より
大橋廣治パストガバナーへ感謝状が贈られました。

ロータリー米山記念奨学会は、勉学、研究を志して日本に在留している外国人留学生に対し、日本全国のロータリアン(ロータリークラブ会員)の寄付金を財源として、奨学金を支給し支援する民間の奨学団体です



◆クラブフォーラム 米山奨学生によるゲストスピーチ



福島南RC奨学生 **タイ・バンタンさん**(ベトナム出身)

現在福島大学の4年生で経済経営学類・企業経営を専攻しています。農家出身の苦学生で、日本に来てからもバイトをしながら勉学に励んでいます。「将来は商社に就職し、拡大する世界経済に対して日本の強みを現地に適合させ提供していくことで、日本のみならず世界に貢献していきたい。特に日本とベトナムの経済の架け橋になりたい。」とお話になり、最後にロータリーの支援に対して感謝の言葉を述べられました。



福島中央RC奨学生 **ビヤムバドルジ・アナラさん**(モンゴル出身)

福島大学で共生システム理工学類環境マネジメントシステムを専攻しており、現在、分析化学を学んでいます。

「大きな夢よりも、様々な夢を見ていた方が良いと気持ちを切り換え、やり甲斐を感じ元気を出すことが出来ました。今、原発事故のデブリの解決に携わるような研究テーマを貰い、頑張っています。」と流暢な日本語でお話になりました。現在、ロータリーアクトにも所属されて親睦を深めています。



※お二人とも大変勉強熱心で優秀であり、将来が楽しみです！

◆お祝い 青野 浩文 会員



青野浩文会員のご令嬢がこの度ご結婚されました。

「ご結婚おめでとうございます♡」

松崎会長よりお祝いが手渡されました。
“青野さんおめでとうございます”



◆ご挨拶 米山記念奨学会推進委員会委員長(福島中央RC) 渡邊 英世 様

米山記念奨学会は、1920年24名にて創立され、今年で100年になります。米山記念事業の使命は、「日本と世界を結ぶ懸け橋となり、ロータリー運動のよき理解者となる人材を育成する」ことです。お忙しいところ貴重なお話をありがとうございました。